

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第167号 2018年4月15日

だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



トンボの羽化が始まりました

春本番、いよいよトンボの季節が始まりました。3月29日には、沼北側のベッコウトンボ保護用のいけすで、ベッコウトンボの羽化が今年初めて確認されました。その後もいけすや沼南側の甑塚（こしきづか）のコンテナでの羽化が確認されています。



左上の写真は羽化したて、真ん中は成熟前の若い頃、そして一番右は成熟して色の濃くなったベッコウトンボ(雄)です。ベッコウトンボは環境省と静岡県が定めるレッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されています。また、種の保存法では国内希少野生動植物種に指定(国内203種のトンボのうち4種のみ)され、捕獲、採取、殺傷、損傷を禁じられている大変貴重なトンボです。

そのほか、ヨツボシトンボやシオカラトンボも羽化し始めています。トンボたちが安心して住むことができる環境を大切に守っていきたいですね。

《桶ヶ谷沼の春の植物》



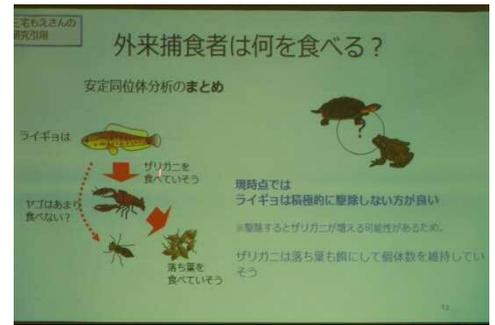
左上の写真はオオジシバリです。沼の脇にある菜の花畑のまわりに咲いていました。真ん中はキツネノボタンです。和名は「狐の牡丹」で野原に生え、その名の由来は葉がボタンを思わせることによります。有毒植物です。一番右はクサイチゴです。シマハナアブが蜜を吸っていました。果実は赤く熟し、食べられます。

《いきもの研究発表会》を3/25(日)に開催しました

桶ヶ谷沼及びその周辺の動・植物を研究している皆さんが日ごろの研究成果を発表しました。各発表者のテーマは下記のとおりです。参加者は20名でした。

1 外来種は何を食べて増えるのか？

(NPO法人桶ヶ谷沼を考える会 保崎 有香さん)
桶ヶ谷沼に繁殖し、トンボのヤゴを食べてしまう外来種・アメリカザリガニをどうやって退治すれば良いか？にヒントを与えてくれるようなお話でした。(右の写真)



2 遠州灘沿岸域におけるミツハシテングスケバの生態と分布 (野路会 田中 健治さん)

ミツハシテングスケバ(ウンカ的一种)は、サクラタデなどが生えている場所に生息するそうです。鶴ヶ池にもサクラタデは生えていますが、ミツハシテングスケバは見つからなかったようです。

3 魚を利用する淡水二枚貝 (淡水貝類研究会 近藤 高貴さん)

桶ヶ谷沼にも生息するヌマガイにタイリクバラタナゴが卵をうみつけ、ヌマガイの幼生は、ヨシノボリなどの魚に寄生するようです。

自然とのふれ合いを

※参加は無料です
申し込みはビジターセンターへ

《行事予定》

ベッコウトンボ調査会

- * 日程 4月29日(日・祝)・5月3日(木・祝) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼周辺
- * 対象 一般(小学生以下は保護者同伴で)
- * 内容 トンボの見分け方やベッコウトンボの説明を受けたあと、桶ヶ谷沼の周辺でベッコウトンボの個体数調査をします。
- * 持ち物・服装 帽子・野外活動のできる服装(長袖・長ズボン)・水筒・メモ用紙など

アメリカザリガニ調査会

- * 日程 6月24日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 ビジターセンター視聴覚室と桶ヶ谷沼周辺
- * 対象 一般(小学生以下は保護者同伴で)
- * 内容 桶ヶ谷沼で大発生しているアメリカザリガニはどんな生活をしているのか?お話を聞いたあと、沼に行ってアメリカザリガニを観察します。
- * 持ち物・服装 帽子・野外活動のできる服装